

「ねとらぼ」に掲載されたトレバに関する記事について

2020年11月23日付でアイティメディア株式会社（以下、「アイティメディア」といいます。）が運営するウェブメディア「ねとらぼ」に掲載された『オンラインクレーンゲーム「トレバ」、景品獲得されそうになると“スタッフが裏操作”していたと発覚 被害者と運営会社を取材』と題する記事（以下、「本件記事」といいます。）が重要部分において事実と反するものであることは、2020年11月24日付け「アイティメディア株式会社及びメディア各社の記事に関する当社の見解」にてお伝えしたとおりです。

今般、当社にて、本件記事で取り上げられた個別事例等について更に調査をいたしましたところ、「トレバ被害者の会」と称して取材を受けている者（以下、「本件取材対象者」といいます。）について、次の1ないし3の事情が判明しました。

当社においては、これらの事情から、本件記事は一般的でない特異な事例があたかも一般的であるかのように悪意をもって表現され、多くのユーザーの皆様をはじめ関係者の皆様に、いたずらに誤解と不安を与えるものであったと認識しており、今後、アイティメディア及び本件取材対象者に対して法律に則って適切に対処していく所存です。

1. 本件取材対象者は、過去3年強にわたりトレバを利用し、他のユーザーと比べて圧倒的に多くの景品を獲得しており、およそ当社の介入行為によって獲れるはずの景品が獲れなくなったなどいえる状況にはありませんでした。
2. また、本件取材対象者は、獲得した多数の景品をオークションサイト等において繰り返し日常的に転売していると認められます。転売を目的として景品を獲得すること及び獲得した景品を転売することは、トレバの利用規約において禁止されている行為であり、本件取材対象者は利用規約に明白に違反しています。
3. 本件取材対象者は、当社に対し、過去3年強の間、トレバに関して膨大な数のメールを送信しており、これらメールにおいて脅迫的言動を繰り返していました。

上記1ないし3の事情を考慮すると、本件取材対象者が今まで以上に景品を獲得しやすい状況にして自己の景品転売を有利に進めてより多くの転売利益を獲得するために、本件記事を利用して当社に不当な圧力をかけようとしている可能性さえあると考えており、アイティメディアがこうした事情を適切に把握することなく、本件取材対象者の一方的な言い分を是認して本件記事の掲載に踏み切ったとすると、極めて不公正で不適切であるといわざるを得ないものと考えております。

当社としましては、本件記事による誹謗中傷に屈することなく、ユーザーの皆様に対するサービスの更なる向上に努めてまいります。

株主、ユーザーの皆様をはじめ関係者の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしており誠に申し訳ございませんが、上記事情をご理解いただき、引き続きご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

以上